



3/30 春の集い



4/3 練習艦隊西山司令官来所



4/2 練習艦隊歓迎レセプション

■海上自衛隊 春の集い
3月30日（土）、海上自衛隊平瀬体育館にて「春の集い」が開催され、県内外から約700名が参加し交流を深めた。主催者挨拶で、橘高克和副会長は、「官舎の改善など住環境の整備を働きかけていくと共に、防衛産業企業を呼び込む受け入れ態勢の強化を図り、基地との共存共栄を深めて参りたい」と挨拶文を代読した。なお、会場には「させば自衛隊タルメ」提供店舗より、長崎和牛愛山亭、させばつくす99+1、KORON SasebDurger&Cafeが来店し、部隊自慢のカレーも振る舞われた。

練習艦隊は4日（木）に出港し、近海練習航海、遠洋練習航海を経て11月に帰国予定。

■海上自衛隊練習艦隊 佐世保入港
4月2日（火）、海上自衛隊の将来を担う実習幹部195名が乗艦した練習艦隊が倉島岸壁に入港し、歓迎行事が行われた。同日夕刻にはさせば四ヶ町商店街協同組合のご協力のもと、当後援会主催の歓迎レセプションを初めて四ヶ町アーケードで開催。宮島大市長はじめ、佐世保自衛隊後援会会員や実習幹部家族など約200名が隊員らを温かく出迎えた。練習艦隊司令官 西山高広海将補は佐世保にゆかりの深い方で、西山司令官より、練習艦の艦長3名も全員が九州出身と紹介があると、会場は「おかえりなさい」と温かい拍手に包まれた。長崎県出身の実習幹部5名による自己紹介、隊歌「海をゆく」の合唱などで会場は大いに賑わった。

翌3日（水）には、西山司令官が佐世保商工会議所を表敬訪問。佐世保市民の歓迎ぶりに感謝の意を述べられると共に、実習幹部に対し「なぜ地元の方々はこんなに歓迎してくれ、支援してくれるのか？自分自身が担う『我が国の平和と独立を守る』という使命とはどういうものなのか？」を考えるように伝えたことなどをお話された。

海上自衛隊 異動のお知らせ（2024年1～4月）

赴任先	離任者	官 職	着任者	赴任元
退職	海将補 市田 章	佐世保地方総監部 幕僚長	海将補 稲田文司	海上幕僚監部 総務部長
航空補給処	1佐 伊勢 武朋	佐世保地方総監部 経理部長	1佐 佐々木 健	佐世保造修補給所
自衛隊中央病院	1佐 武智千津子	佐世保衛生隊司令	1佐 松永 毅	自衛隊呉病院
海上自衛隊幹部学校	1佐 小林 知典	佐世保警備隊司令	1佐 森山 進	海上幕僚監部 防衛課
佐世保水中処分隊長	3佐 出口 学	あまくさ艦長	3佐 栄木 博文	呉海上訓練指導隊
佐世保海上訓練指導隊	2佐 北村 友嗣	はるさめ艦長	2佐 林 大佑	第1護衛隊群司令部
舞鶴海上訓練指導隊	2佐 渡邊 真史	のしろ艦長	2佐 堀 哲暢	護衛艦くまの
横須賀海上訓練指導隊	2佐 大濱 英樹	あさひ艦長	2佐 高城 正太	佐世保海上訓練指導隊
掃海隊群司令部	3佐 松尾正太郎	ひらしま艇長	1尉 松園 章平	第1術科学校
佐世保地方総監部	3佐 中村 祐一	やくしま艇長	3佐 立石 貴大	掃海母艦うらが

佐世保自衛隊後援会だより

（発行）
佐世保自衛隊後援会
会長 金子 卓也
佐世保市湊町6番10号
（佐世保商工会議所内）
TEL (0956) 22-6121

佐世保自衛隊後援会



ホームページ

令和6年度 自衛隊任期制隊員 合同企業説明会

参加企業等様の募集について

令和7年春に自衛隊を任期（契約）満了で退職し、長崎県内での就職を希望する隊員（概ね20歳代）を対象とした、合同企業説明会を以下のとおり開催します。退職予定自衛官の雇用にご関心がある企業様等の応募を心よりお待ちしております。

時期・場所	令和6年9月5日（木）・パークベルズ大村（長崎県大村市幸町25-30）
募集期間	令和6年3月28日（木）～6月20日（木）
応募条件	・長崎県内に就業場所があること ・雇用、労災、健康及び厚生保険に全て加入していること ・雇用条件が労働関係法等の各種規則に反していないこと ・正社員以外の求人については、正社員登用の可能性があること
応募費用	無料
応募方法	1 QRコードまたは、長崎地本HP内「任期制隊員合同企業説明会」のリンク先より、「6gouki.xlsx」の（Excelファイル）を企業様のパソコン等へダウンロードして下さい。 2 「6gouki.xlsx」ファイル内（確認事項）をご確認の上、必ず求人票と企業PRの両方に必要事項を入力願います。 3 同HP上の「メール送信（6年度合企求人票）」をクリックし、ご記入済みの求人票・（Excelファイル）を添付しメール送信をお願いします。 なお、送信時のファイル名につきましては、企業名を付した名称をお願いします。（一例：〇〇株式会社求人票）
参加企業選定要領	1 ご応募いただいた求人票を、合同企業説明会への参加予定隊員に提示して、アンケート調査を行います。 2 アンケート結果に基づき、面接希望が多かった企業様に対してのみ、別途8月上旬頃に合同企業説明会参加のご案内をお送りします。



ご質問等がございましたら、お気軽にご連絡ください。
連絡先：自衛隊長崎地方協力本部長崎地域支援センター
所在地：長崎市出島町2-25 電話：095-826-8846

合同企業説明会
QRコードはこちら



令和6年度自衛官等採用案内

種 目	採用人員	資 格	受 付 期 間 (締切日必着)	試 験 期 日	合 格 発 表	入 隊 時 期 (入校時期)	待遇・その他
幹 部 候 補 生	一 般	参考(令和5年度) 陸 約181名 (うち女子約25名) 海 約94名 (うち女子約12名) 空 約86名 (男女の区分なし。) ※1	22歳以上26歳未満の者 (20歳以上22歳未満の者は大卒(見込)者、修士課程修了者等(見込)は28歳未満の者) ※1	① 3月1日～4月12日	① 1次: 4月20日・21日 (4月21日は海・空飛行要員のみのみ) 2次: 5月24日～30日 3次(海・空飛行要員のみのみ) (海): 6月20日～24日 (空): 7月13日～8月1日	① 1次: 5月17日 2次(海・空飛行要員のみのみ) (海): 6月13日 (空): 6月17日 最終: (陸): 7月4日 (海): 7月11日 (空): 8月22日	入隊後約1年で 3等陸・海・空尉 (院卒者試験合格者は 2等陸・海・空尉)
		院卒者試験 参考(令和5年度) 陸 約14名 海 約4名 空 約10名 ※1	20歳以上28歳未満の者 修士課程修了者等(見込) ※1	② 4月24日～6月13日 (一般) 8月26日～9月26日 ※3	② 1次: 6月22日 2次: 7月30日～8月5日 ③ 1次: 10月5日 2次: 11月8日～11日	② 1次: 7月18日 最終: 9月10日 ③ 1次: 10月31日 最終: 12月23日	令和7年3月中旬 ～4月上旬
	歯 科 薬 剤 科	参考(令和5年度) 陸 約18名 海 約11名 空 約6名 ※1	専門の大卒(見込)者 20歳以上30歳未満の者 (薬剤科は20歳以上28歳未満の者※2)		① 1次: 4月20日 2次: 5月24日～5月30日 ② 1次: 6月22日 2次: 7月30日～8月5日	① 1次: 5月17日 最終: (陸): 7月4日 (海空): 7月11日 ② 1次: 7月18日 最終: 9月19日	歯科は入隊後約6週間で2等陸・海・空尉 薬剤科は入隊後約1年で2等陸・海・空尉
一 般 曹 候 補 生	参考(令和5年度) 陸 約4,200名 (うち女子約500名) 海 約1,630名 (うち女子約230名) 空 約1,400名 (男女の区分なし。) ※1	18歳以上33歳未満の者 (32歳の者は、採用予定月の末日現在、33歳に達していない者)	① 3月1日～5月7日 ② 7月1日～9月3日 ③ 10月1日～11月28日 ※4	① 1次: 5月17日～26日 2次: 6月18日～30日 ② 1次: 9月14日～22日 2次: 10月12日～27日 ③ 1次: 12月7日～12日 2次: 令和7年1月6日～13日 ※いずれか1日を指定されます。	① 1次: 6月6日 最終: 7月18日 ② 1次: 10月3日 最終: 11月21日 ③ 1次: 12月23日 最終: 令和7年1月30日	令和7年3月下旬 ～5月上旬	入隊後2年9か月経過以降降選考により3等陸・海・空曹
自 衛 官 候 補 生	参考(令和5年度) 男 子 約5,000名 約1,000名 約1,700名 女 子 約750名 約200名 約600名 ※1	18歳以上33歳未満の者 (32歳の者は、採用予定月の末日現在、33歳に達していない者)	年間を通じて行っております。	受付時又は各自衛隊地方協力本部のホームページにてお知らせします。 ※5	試験時にお知らせします。	令和7年3月下旬 ～4月上旬	所要の教育を経て、3か月後に2等陸・海・空士に任用。 陸上(技術系を除く)は1年9か月、陸上(技術系)・海上・航空は2年9か月を1任期として任用(以降2年を1任期)
予 備 自 衛 官 補	一 般 技 能	陸 約1,540名 海 約350名 約20名	18歳以上52歳未満の者 18歳以上で国家免許資格等を有する者(資格により年齢上限は55歳未満～55歳未満)	① 1月22日～4月11日 ② 6月1日～9月19日 ※3	① 4月6日～21日 ② 9月21日～10月7日 ※いずれか1日を指定されます。	① 5月29日 ② 11月7日	階級は指定しない。 教育訓練招集手当 日給8,800円 所定の教育訓練修了後、予備自衛官として任用

資料出所：防衛省ホームページ、一部抜粋



3/8 海上自衛隊大村航空基地視察



2/27 青年部視察研修 金子容三衆議院議員表敬訪問



3/8 陸上自衛隊竹松駐屯地視察



2/27 青年部視察研修 市ヶ谷記念館にて

■**大村航空基地・竹松駐屯地見学**

3月8日（金）、当後援会は3月例会として海上自衛隊大村航空基地ならびに陸上自衛隊竹松駐屯地の視察研修を実施した。

大村航空基地では、駐機している哨戒ヘリコプターSH-60Kのコックピット、キャビンに実際に搭乗。計器類がびっしりと詰まり想像以上に狭い機内を、参加者は珍しうに見学した。また、救難消防車1B型ストライカーの放水実演も見せていただいた。

竹松駐屯地は大正12年に旧日本海軍大村航空隊基地として創設され、昭和27年より陸上自衛隊の駐屯地として使用されている。今年3月には第3水陸機動連隊が新編された。駐屯地内には旧日本海軍の倉庫や防空壕等が数多く遺されており、空襲時の弾痕跡が残るレンガ造りの倉庫等を見学した。

■**佐世保自衛隊後援会青年部視察研修**

2月27日（火）、当後援会青年部（山下忠則会長）は、金子容三衆議院議員表敬訪問ならびに防衛省市ヶ谷記念館の視察研修を実施し、17名が参加した。

金子容三衆議院議員への表敬訪問では、予算委員会での質問事項など国会での活動内容について説明を受けた。途中、小野寺五典元防衛大臣が立ち寄られ、「金子代議士への応援団としてこのように多くの若い方がお見えになり、とても嬉しく思う。」とご挨拶いただいた。国会議事堂の見学では、普段入室できない議長控室なども見学させていただき、貴重な体験となった。

市ヶ谷記念館は昭和9年に陸軍士官学校の大講堂としてつくられ、昭和21年5月から昭和23年11月まで極東国際軍事裁判（東京裁判）の法廷として使われた。2階旧陸軍大臣室では、昭和45年11月に三島由紀夫事件が起こった際、三島らと護衛の自衛官が揉みあってできた刀傷も見ることができた。

シリーズ ～日本遺産をめぐる～

明治期の日本は、近代国家として西欧列強に対抗すべく、天然の良港に人と先端技術を集積させ、軍港として整備した。そうしてできたのが「鎮守府横須賀・呉・佐世保・舞鶴」である。ここでは、佐世保に残る日本遺産・鎮守府の構成文化財を紹介する。

■**旧佐世保無線電信所（針尾送信所）**

所在地・佐世保市針尾中町382
見学・9時～12時、13時～16時

西海橋の近くにそそり立つ、鉄筋コンクリート製の3本の塔。針尾無線塔は1922（大正11）年、旧日本海軍の手によって4年の歳月と155万円（現在の価値で250億円相当）の巨額を投じて建設された。高さ136mの3本の塔は、1941（昭和16）年12月8日の太平洋戦争勃発の口火を切った真珠湾攻撃の暗号「ニイタカヤマノボレ1208」を中継したとも言われている。昨年、長期的な保存に向けて耐震性や劣化の状況を調査するため無線塔の基礎部分を掘削した結果、建設からおよそ100年が経った今もひび割れや剥がれといった劣化が殆どなく、当時の技術力の高さが改めて示された。



昨年特別公開された基礎部分



新西海橋から望む針尾無線塔



4/21 水陸機動団創隊6周年・相浦駐屯地創立69周年記念行事



2/25 アイアン・フィスト24 訓練開始式

4/21 水陸機動団創隊6周年・相浦駐屯地創立69周年記念行事
(写真提供:水陸機動団)

3/24 第3水陸機動連隊隊旗授与・新編記念式典

■**第3水陸機動連隊隊旗授与・新編記念式典**

3月24日（日）、第3水陸機動連隊の隊旗授与式・新編記念式典が大村市の竹松駐屯地で行われた。

第3水陸機動連隊の規模は約600名。連隊新編により隊員数は団全体で3400名規模に拡充された。水陸機動連隊の3個連隊制化によって実行的な訓練・即応体制の確保・装備品の整備や待機等をローテーションで実施することが可能となり、離島防衛や敵占領地域奪回などの抑止力・対処力が一層強化される。さらに災害派遣においても、対応の迅速化に繋がるものと期待される。

木原稔防衛大臣から隊旗が手渡された高田剛第3水陸機動連隊長は、「厳しい訓練に取り組み、任務に精励する」と力強く述べた。その後、隊員らは水陸両用車に乗りこみ離島奪還の訓練を公開した。

■**水陸機動団・相浦駐屯地記念行事**

4月20日（土）・21日（日）、水陸機動団創隊6周年・相浦駐屯地創立69周年記念行事が相浦駐屯地で開催された。

21日（日）の観閲式、観閲行進では、竹松駐屯地に配備された第3連隊を含む隊員約600人や水陸両用車など約70両、さらに米海兵隊も参加し、雨が降る中、迫力あるパレードが行われた。その後の模擬訓練では島が占領された想定で、奪還に向けた部隊展開の流れが公開された。隊員が攻撃しながら全力疾走する迫力ある訓練の様子が披露された他、装備品展示や模擬売店等が実施され、約3000人の市民らが熱心に見学した。

■**アイアン・フィスト24**

水陸機動団は、2月25日～3月17日にかけて実施された第3海兵機動展開部隊との共同訓練（アイアン・フィスト24）に参加した。自衛隊側からは水陸機動団のほか、ヘリコプター部隊、海上自衛隊の輸送艦など、日米あわせて計2100人が参加。本訓練はこれまでアメリカ本土で行われていたが、昨年から九州・沖縄の各地において実施されている。島嶼防衛のための水陸両用戦遂行能力の向上を図ると共に、相互運用能力を高め、「自由で開かれたインド太平洋」の維持・強化に寄与する。

訓練開始式で第2水陸機動連隊長辻一平等陸佐は、「日米共同の水陸両用戦の遂行能力を向上させ、日米同盟の結束の強さを示すことができる」と述べた。

■**海上自衛隊佐世保教育隊入隊式**

4月8日（月）、佐世保教育隊で「第21期一般海曹候補生課程」、「第30期自衛官候補生課程・第19期自衛官候補生課程（女性）」の入隊式が行われた。今年は九州各県から計288名が佐世保教育隊に入隊。8月までの約5か月間、実習や座学を通して海上自衛官としての基礎を学んだ後、各部隊に配属される。

■**護衛艦あけぼの帰国行事**

4月13日（土）、海上自衛隊の護衛艦「あけぼの」（外川久人艦長）が、ソマリア沖アデン湾での約4ヶ月間の海賊対処などを終えて佐世保に帰港し、帰国行事が行われた。同艦には隊員と海上保安官計あわせて約210人が乗り込み、昨年9月27日に佐世保を出港。イエメンの反政府勢力による船舶への攻撃が相次ぐ中、現地で民間船舶を3回護衛し、地域の海上交通安全確保のため情報収集活動にも従事した。

■**陸上自衛隊 異動のお知らせ**
(2024年1～4月)

■**転出者（異動先）**

- ・相浦駐屯地業務隊長1等陸佐 岩村 福雄（第2特科団（湯布院））
- ・第3水陸機動連隊長兼ねて竹松駐屯地司令1等陸佐 高田 剛一（陸上幕僚監部人事教育部人事教育計画課制度班長）
- ・相浦駐屯地業務隊長1等陸佐 清水 直樹（東北防衛局防衛補佐官）

■**鬼木防衛副大臣 部隊視察**

4月15日（月）、鬼木誠防衛副大臣は陸上自衛隊相浦駐屯地及び海上自衛隊佐世保地方総監部を視察した。相浦駐屯地では訓練展示や水陸両用車の試乗を通して水陸両用戦や水陸機動団の任務について理解を深め、佐世保地方総監部では弾薬の管理状況などの視察を行った。鬼木防衛副大臣は指揮官等と意見交換を行い、厳しさを増す南西諸島の防衛にあたる隊員を激励した。